

茶情報

No. 175号 令和2年8月7日

発行所  三重県茶業会議所

三重県津市桜橋1丁目649番地
農業共済会館内

TEL (059) 226-8551

FAX (059) 227-9654

令和2年度通常総会を開催

令和2年度、三重県茶業会議所通常総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、会頭、副会頭等の少数の役員の参加をもって、7月2日（木）三重茶農業協同組合（四日市市水沢町）で開催いたしました。

事前に書面決議を依頼した58名の代議員中43名の回答と、総会出席者により、上程されました議案はすべて原案通り承認されたのでその概要を記載いたします。

令和2年度事業計画

お茶は、人々の暮らしの中に深く溶け込み、生活にゆとりと潤いをもたらす飲み物として広く利用されてきました。

また、近年、お茶の成分について研究が行われるなか、抗がん、抗酸化、抗高血圧、抗アレルギー、抗ストレス等々の効能が明らかにされ、健康食品としてもおおいに注目されているところです。

三重県では、生産者、加工・流通業者等が一体となり、三重県で生産された安全・安心で良質な「伊勢茶」を消費者に飲んでいただくとともに、「伊勢茶」に関する歴史・文化などをあらゆる手段を通じて多くの方に情報発信し、ブランド力の向上に取り組んできました。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で、世界的にリーマンショック以上の経済的落ち込みが懸念されています。茶価についても元年産以上の低迷が予想されます。このような経済状況にあっても伊勢茶の体質強化を図るため、下記の基本方針に沿い、伊勢茶ブランドの拡大・浸透を図って行きます。

また、令和3年度に予定している第68回全国茶審査技術競技大会の開催準備を支援します。

○伊勢茶のブランド力強化・消費拡大

日本茶の文化的価値やお茶のもつ機能や効能等をわかり易く情報発信し、気軽にできるお茶のある暮らしに向けた生活スタイルの提案を行います。

○良質な伊勢茶の生産・経営基盤強化

三重県茶業が安定的に持続するため、高品質なお茶の生産、計画的な茶樹の更新、経営からみた生産の検討やコストの削減、担い手の育成などに取り組めます。

○消費者に信頼される伊勢茶づくり

生産から加工・流通、消費に至る安全・安心の確保に向け、伊勢茶GAPの定着化を図るとともに、JGAPの取得推進、食品表示法、食品衛生法などの法令の遵守等を進めます。

目次

1、令和2年度通常総会を開催	1	7、トピックス 田中前会頭、県民功労者表彰を受章	13
2、鎌田会頭就任あいさつ、田中会頭退任あいさつ	3	知事、水沢の茶園を視察・水出し茶のPR	
3、三重県茶業会議所 代議員・役員名簿	4		13
4、令和元年度事業報告	5	8、令和2年度茶業振興費の徴収方法について	14
5、茶関係組織の令和元年度活動状況	11	9、伊勢茶認証店を募集しています	14
6、会員等の主な活動（令和2年1月以降）	13	10、新型コロナウイルス感染症対策としての国の事業について	15

(伊勢茶のブランド力強化・消費拡大)**1 伊勢茶リーフの需要拡大事業（継続）**

「淹れ方教室」を通じリーフ茶の需要拡大を図るとともに、地域の茶業組合による小中学校生を対象にした「お茶でうがい運動」等の支援活動等、伊勢茶のPRを行い、緑茶ファンを増やす運動に取り組みます。

・「淹れ方教室」の開催

(1) 高等学校、一般グループ、イベントなど様々な場面、対象に対する淹れ方教室の実施

(2) 伊勢神宮「伊勢茶接待所」開設

(3) 「茶柱タツ」(着ぐるみ)の活用

以上の事業については、県茶業青年団、県茶生産青年会、日本茶インストラクター協会三重県支部、伊勢茶推進協議会の協力を得て実施します。

2 伊勢神宮「伊勢茶(新茶)」奉納事業（継続）

17回目となった本年は、茶業の盛況とともに新型コロナウイルスの早期終息を祈願します。

**3 伊勢茶認証店支援事業（継続）**

翌3年度の更新年に向け、既認証店の更新等の意向確認や掲載内容の整理、認証店の宣伝資料の作成を進めます。(ホームページ作成費を含む)

4 第68回全国茶審査技術競技大会対策

三重県茶業青年団が主管し開催される第68回全国茶審査技術競技大会の準備を支援します。

(良質な伊勢茶の生産・経営基盤強化)**5 第2期伊勢茶リフレッシュ運動」推進事業（継続）**

国の茶改植等支援事業に取り組むとともに国事業の補完として会議所の事業も実施します。

・国補事業：茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進

・会議所事業：茶園新植・改植奨励金

6 品質向上・品評会参加事業（継続）

事業の目的として、茶生産技術の向上と良質伊勢茶生産の発揚の場として関係機関の協力を得て、伊勢茶品評会・伊勢茶振興大会の開催や各種品評会での上位入賞を目指すこととしています。

しかし本年は、新型コロナウイルスの拡大防止の観点から伊勢茶及び関西茶品評会が中止となるなど例年の活動はできませんが、事業の目的に沿って伊勢茶の品質向上やより安全な審査方法の検討等を進めます。

7 燃油価格高騰緊急対策（継続）

燃油価格の高騰による茶業経営の圧迫を軽減するため実施される国の燃油価格高騰緊急対策茶セーフティネット構築事業を活用します。

・事業期間 4月～10月

・参加農家 7戸(計画参加27戸)

8 地区茶業組合等活動助成事業（継続）

地域における組合活動の推進と「伊勢茶リーフの需要拡大事業」、「伊勢茶リフレッシュ運動」、「安全安心な伊勢茶づくり運動」への取り組みを強化するため茶業組合等へ助成します。

9 後継者等育成組織助成事業（継続）

後継者育成の重要性に鑑み、後継者等育成組織の活動を支援助成します。

(県茶業青年団、県茶生産青年会、県手もみ茶技術伝承保存会、日本茶インストラクター協会三重県支部)

10 茶情報等の発行（継続）

茶情報(年2回)及び技術情報等を発行します。

(消費者に信頼される伊勢茶づくり)**11 「安全安心な伊勢茶づくり運動」推進事業（継続）**

食品表示法を遵守するとともに、グローバルGAPの認証取得は、伊勢茶の安全安心の高度化、さらには茶の輸出促進にも寄与することから、県や伊勢茶推進協議会と連携し、取得支援を行います。また、食品衛生法の改正に伴う新基準に円滑に移行できるよう推進します。



会頭就任あいさつ

新会頭 鎌田 隆郎

このたび、三重県茶業会議所の会頭に推挙されました四日市市の鎌田隆郎でございます。

会議所を設立された野呂恭一会頭をはじめ歴代の偉大な会頭の後任ということで固辞しておりましたが、何度も足を運んでいただき、このような大変な時期に自分でいいのかと考えることもございましたが、役員の皆様にご支援いただくということで受けさせていただきました。

茶の情勢は、今までも厳しいと感じておりましたが、新型コロナウイルスの出現で国の内外において人や物の交流に制限が生じ、大変な状況になっております。国や県市町にお

かれてはその対応にご努力いただいておりますが、我々の業界においても、これまでの進め方だけでなく、変わっていかねばならないのではないかと感じ、よりよい道を皆さんとともに探していきたいと思っております。

前職が生産者の皆さんと茶商の皆さんとの橋渡しでしたので、その経験を活かしながら皆さんの意見を頂戴し精いっぱい頑張りますので皆さんのご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

なお、田中会頭には、中嶋元会頭と同様顧問としてご指導をお願いしたところであります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



会頭を辞して

前会頭 田中 利 宣

茶業会議所には、県農協連の役員として副会頭で平成18年から平成23年まで、平成26年からは中嶋会頭から会頭職を引き継ぎ、お世話になりました。

振り返れば平成18年は「伊勢茶リフレッシュ運動」が展開され、19年には「伊勢茶」の地域団体商標が登録されるなど、伊勢茶の産地強化、ブランド強化に着手された年でありました。会頭となって、28年度の第70回全国お茶まつり三重大会、30年度の第71回関西茶業振興大会三重県大会と2度の品評会を始め、伊勢志摩サミット、全国菓子博覧会と大きなイベントに関わり、また携わってまいりました。全国お茶まつりでは悔しい思いもしましたが、皆さんの

協力が無事に乗り越え、関西茶業振興大会では、農林水産大臣賞も受賞していただきました。県内外に伊勢茶の名前も少しは広がったのではないかと自負しているところであります。しかし、今年の新型コロナウイルスの感染拡大による県茶業界への打撃は大変なものであり、このような時にこそ、全国や関西など大会を無事切り抜けることが出来た皆さんの力の結集が大事だと考えるところであります。会頭を辞することとなりましたが、今後とも顧問として支援の一翼を担わせていただきます。

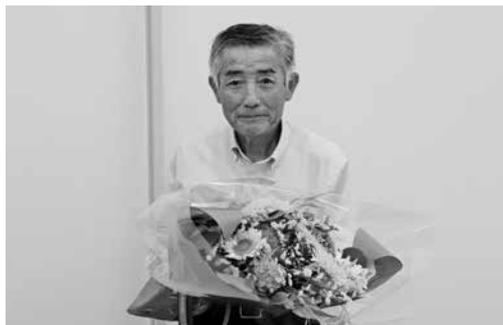
最後に、会員の皆様のご活躍、ご健勝と会議所の益々のご発展を祈念申し上げご挨拶いたします。

令和2年度からの会議所の役職は次の皆さんとなります。よろしくお願い致します。

会 頭 鎌田 隆郎、副会頭 中村 厚司、副会頭 原 昭義、副会頭 豊田 栄之
常務理事 熊崎 圭介、監事 伊藤 貴彦、豊田 宗元、玉村 肇久



令和2年度通常総会



田中会頭、長い間ありがとうございました

////// 三重県茶業会議所 代議員・役員名簿 //////////////

任期：R2年7月～R5年6月

構成団体名	代議員	内役員	代 議 員 名	役 員 名
全農三重県本部	2	1	中村厚司・宮崎博之	中村厚司
県茶商工業協同組合	4	4	原 昭義・安田 伸・川原 登 伊藤貴彦	原 昭義・安田 伸 川原 登・伊藤貴彦
三重茶農業協同組合	4	2	豊田栄之・大野博司・中尾伸次 原 誠	豊田栄之・大野博司
桑名市茶業組合	1	1	伊藤公一	伊藤公一
いなべ市 大安町茶生産組合 北勢町茶業組合	2	1	伊藤哲也 片山善紀	伊藤哲也
菰野町茶生産組合	3	1	矢田長衛・片岡正人・曾根武夫	矢田長衛
四日市茶業連合会	9	4	矢田宗久・増田潤治・豊田宗浩 清水克司・鎌田俊充・伊藤俊也 小林賢二・本郷圭三・古川真幸	矢田宗久・増田潤治 豊田宗浩・清水克司
鈴鹿市茶業組合	7	3	大野博司・今村知寛・山際基司 伊藤圭介・名村芳樹・鈴木孝司 三浦眞一	大野博司・今村知寛 山際基司
亀山市茶業組合	3	2	伊達謙二・一見守一・市川泰三	伊達謙二・一見守一
関町茶業組合	1	1	伊藤ちなみ	伊藤ちなみ
芸濃町茶生産組合	1	1	竹尾和郎	竹尾和郎
久居・一志茶業組合	3	1	村木重和・横谷 威・山中重範	村木重和
松阪市茶業組合	4	2	中村治郎・中村吉勝・村瀬成郎 高橋 徹	中村治郎・中村吉勝
多気町茶業組合	3	1	加藤健一・大西正巳・大嶋博文	加藤健一
大台町茶業組合	4	2	中西一浩・松田典久・西村光弘 上岡國彦	中西一浩・松田典久
松阪市茶商組合	2	1	塚本泰弘・杉本怜子	塚本泰弘
伊勢市茶商組合	1	1	永井一誠	永井一誠
大宮町茶振興協議会	1	1	西村敏博	西村敏博
度会町茶業組合	3	2	大西 保・玉村肇久・中森 大	大西 保・玉村肇久
伊賀茶業組合	1	1	北森 徹	北森 徹
県茶業青年団	1	1	堀内洋介	堀内洋介
県茶生産青年会	1	1	水野純志	水野純志
県手もみ茶技術 伝承保存会	1	1	中森 慰	中森 慰
学識経験者	2	2	鎌田隆郎・熊崎圭介	鎌田隆郎・熊崎圭介
計	64	38		

顧問	中嶋 正・田中利宣
----	-----------

令和元年度事業報告

(伊勢茶の生産状況)

令和元年の伊勢茶の状況は、一番茶では、3月の高温から一転して4月に低温になるなど気温の変動が大きく、茶の生産や防霜対策、適期の摘採に大変苦勞されたとのことで、生産量も昨年より1割以上の減産でした。二番茶も梅雨の天気を見ながらの摘採でやはり減産となり、加えて一番茶も二番茶も価格的には厳しい状況となりました。秋番茶は比較的生産も価格も堅調でしたが総じて厳しい年がありました。

(事業概要)

このようななか、令和元年度については、

- (1) 伊勢茶のブランド力強化・消費拡大
- (2) 良質な伊勢茶の生産・経営基盤の強化
- (3) 消費者に信頼される伊勢茶づくり

を基本方針として、各種事業に取り組みました。

1 総会・役員会等

(1) 令和元年度総会

令和元年6月13日(木) (プラザ洞津)

令和元年度通常総会開催

(2) 役員会

令和元年6月13日(木) (プラザ洞津)

総会付議事項協議

令和元年10月31日(木) (県茶業研究課)

- ・茶業功績者及び関西茶業功労者の決定について
- ・第44回伊勢茶振興大会について
- ・新品種の試飲等について(きらり31号、せいめい)

令和2年1月31日(金) (農業共済会館)

- ・事業の実施状況について
- ・要望に対する回答について
- ・品評会出品要請点数について
- ・第45回伊勢茶品評会の開催について

令和2年3月31日(火) (三重茶農協)

新型コロナウイルスの拡大防止のため会頭・副会頭で協議

- ・元年度事業実績報告(案)
- ・次年度事業方針(案)

(3) 監査会

令和元年5月31日(金) (農業共済会館)

30年度監査

(4) 総務理事会

令和元年6月6日(木) (農業共済会館)

総会付議事項協議

令和元年8月5日(月)

(農業共済会館、自由民主党会館)

- ・茶業功労者について
- ・各品評会の出品状況について
- ・自民党三重県支部連合会との政策懇談会
- ・伊勢茶推進協議会の活動状況について

令和元年10月31日(木) (県茶業研究課)

- ・茶業功績者の選定について

(5) その他(主として緑茶の表示基準について)

令和2年1月17日(金) (三重茶農協)

会議所: 会頭、副会頭

県茶商工: 理事長、副理事長

令和2年2月12日(水) (三重茶農協)

会議所: 会頭、副会頭、茶業組合長

(伊勢茶のブランド力強化・消費拡大)

1 伊勢茶リーフの需要拡大事業(継続)

「淹れ方教室」を通じリーフ茶の需要拡大を図るとともに、地域の茶業組合による小中学生を対象にした「お茶でうがい運動」等の支援活動等、伊勢茶のPRを行い、緑茶ファンを増やす運動に取り組みました。

(1) 高等学校等を対象とした「伊勢茶の淹れ方教室」

久居農林高校、四日市農芸高校、海星高校、四日市西高校、相可高校、津田学園中学校、松阪商業高校、宇治山田高校、宇治

山田商業高校、四日市商業高校、稲生高校、明野高校、あけぼの学園高校、伊賀白鳳高校、南伊勢高校（度会）、南伊勢高校（南勢五ヶ所）、菰野高校、セントヨゼフ女子高校、朝明高校、白山高校、白子高校、四日市メリノール学院中学校（開催順）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため桑名高校（定時制）では開催できませんでしたが、合わせて延べ22校931名の学生を対象に、三重県茶業青年団の皆さんが22日間にわたり実施しました。

(2) 伊勢神宮「伊勢茶接待所」開設（昭和44年～）

伊勢茶接待所をせんぐう館休憩舎で開設し、初詣の参詣者に対し、県茶業青年団と県茶生産青年会の皆さんが取組み、温かい伊勢茶で接待し大変喜んでいただきました。

(3) 宣伝活動等の展開

ア みえ地物一番 三重県フェア

平成31年4月14（日）イオン津南で開催され、とこわか国体、熊野古道、松阪市や伊賀市の観光PR、皇学館大学の駒田先生による伊勢茶のワークショップが行われました。ワークショップでは、家族連れを中心に約20名の方が参加し、おいしいお茶の淹れ方やお茶の魅力、お茶を使ったお菓子のレシピ紹介などの説明・体験が行われました。最後に同大学の生徒が考えた伊勢茶のクイズ大会が行われ、お茶の魅力を積極的に発信しました。

イ 総理大臣に新茶贈呈

令和元年5月17日公益社団法人日本茶業中央会の呼びかけで、全国の銘茶が官邸で贈呈されました。本県の伊勢茶も副会長が参加し、安倍総理大臣に贈呈されました。

ウ 県内事業所の操業50周年祭に参加

令和元年10月27日（日）県内事業所の操業50周年祭への参加要請があり、インストラクター協会及び手もみ茶技術伝承保存会の協力のもと淹れ方教室と手も

み茶の実演を行いました。

当日は、市内を中心に3,000名以上の参加があり、高校生の吹奏楽の演奏やダンスなどで多く参加者が楽しみました。

エ 伊勢茶を大嘗祭に供納

天皇陛下が地域の作物などを神前に供えて五穀豊穡や国家・国民の安寧などを祈られる、天皇1代に一度きりの行事である大嘗祭に供納する名誉を得ました。令和元年11月12日（火）に、伊勢茶品評会1等1席の3茶種及び手もみ茶1kgを副会長と生産者の皆さんで納めていただきました。

(4) 後援、協賛

・皇風煎茶禮式（煎茶道）三重大会

令和元年5月19日 後援

・アビリンピックみえ（第17回三重県障害者技能競技大会）

令和元年11月30日 協賛

2 伊勢神宮「伊勢茶（新茶）」奉納事業（継続）

16回目となる新茶の奉納を平成31年4月23日（火）、茶業会議所役員と三重県手もみ茶技術伝承保存会の会員が新茶約4kgを奉納しました。

また、4月26日（金）には知事に新茶の贈呈を行いました。

3 伊勢茶認証店支援事業（継続）

伊勢茶認証店の募集とともに登録された店舗に関する情報についてホームページの更新を行いました。また、食品表示法に関して公益社団法人日本茶業中央会が作成した「緑茶の表示基準」を増刷し配付しました。

（良質な伊勢茶の生産・経営基盤強化）

4 第2期「伊勢茶リフレッシュ運動」推進事業（継続）

4茶業組合43戸の皆さんにより、改植7.8ha、新植4.1ha、台切り1.6ha、てん茶直接被覆7.8ha等が実施されました。

なお、会議所の茶園新植・改植奨励金の要望はありませんでした。

5 新品種「せいめい」の増殖ほの設置

「きらり31」に続き「せいめい」の増殖圃を設置しました。令和4年には苗が供給できる予定です。なお、令和2年度の国の改植事業においては、同2品種に加え「さえあかり」については中央農業改良普及センターの新品種実証ほに協力いただくなど、他にも条件がありますが改植の補助金が少し上乘せされる予定です。

6 燃油価格高騰緊急対策

燃油価格の高騰による茶業経営の圧迫を軽減するため国の燃油価格高騰緊急対策茶セーフティネット構築事業に参加しました。本年度は事業の発動はありませんでした。

事業期間 4月～10月

参加農家 27戸（補填金積立農家21戸）

7 品質向上・品評会参加事業

茶生産技術の向上と良質伊勢茶生産の発揚の場として、第44回伊勢茶品評会を開催するとともに第73回全国茶品評会、第72回関西茶品評会に参加しました。

第44回伊勢茶品評会は、県茶業研究室（亀山市）、伊勢茶振興大会をプラザ洞津（津市）で開催しました。振興大会では、地域の茶産地でご活躍いただき功績のあった次の3名の方を茶業功績者として表彰しました。

- ・古川 文啓氏 四日市市堂ヶ山町
- ・駒田 六平氏 亀山市小野町
- ・西村芳兵衛氏 大台町栃原

加えて、全国茶品評会で1等に入賞されました、かぶせ茶の部 四日市市 萩村和樹氏に出品茶品質向上奨励金を贈呈しました。

第72回関西茶業振興大会京都府大会においては、各県（6府県）でご活躍いただき功績のあった8名の方が関西茶業協議会から表彰されました。三重県からは前三重県茶業会

議所常務理事 種岡 勝様が表彰されました。（別掲1「品評会事業」参照）

8 地域茶業組合等活動助成事業（継続）

地域における組合活動の推進と「安全安心な伊勢茶づくり運動」、「伊勢茶リフレッシュ運動」、「伊勢茶リーフの需要拡大事業」への取り組みを強化するため茶業組合等へ助成しました。

9 後継者等育成組織助成事業（継続）

後継者育成の重要性に鑑み、後継者等育成組織の活動を支援助成しました。

（県茶業青年団、県茶生産青年会、県手もみ茶技術伝承保存会、日本茶インストラクター協会三重県支部）

（別掲2「育成組織活動状況」参照）

10 茶情報等の発行（継続）

茶情報（年2回）を発行しました。

（消費者に信頼される伊勢茶づくり）

11 「安全安心な伊勢茶づくり運動」推進事業（継続）

適正な緑茶の表示を支援するため、食品表示法改正に伴い公益財団法人日本茶業中央会が作成した「緑茶の表示基準」を増刷し会員及び伊勢茶販売店配付しました。

また、栄養成分表示のため、かぶせ茶の成分分析を実施しました。

県内市販茶4種の平均値です。

茶葉 100gあたり

茶 種	熱量 kcal	蛋白質 g	脂質 g	炭水化物 g	食塩 相当量 g
かぶせ茶	388	35.7	4.4	51.3	0

別掲1 品評会事業

(1) 第44回伊勢茶品評会・伊勢茶振興大会

【日 程】

項 目	月 日	関係者数	場 所
見本採取	8月1(木)・2日(金)	3名	県茶業研究課
サンプル採取	8月22日(木)	19名	〃
成分分析	8月23日(金)	審査員3名、補助員3名	四日市市茶業振興センター
審査会 官能審査	9月3日(火)	審査員12名、補助員50名	県茶業研究課
審査会 価格審査 擬賞会	9月4日(水)	審査員10名、補助員12名	〃
伊勢茶振興大会	11月21日(木)	来賓、茶業関係者約120名	プラザ洞津

【出品点数等】

	普通煎茶	深蒸し煎茶	かぶせ茶	計
出品茶数	49	78	24	151
出品組合数	7	5	2	8
入賞数	1等	2等	3等	計
	12	15	20	47

【伊勢茶品評会特別賞】

(普通煎茶の部)

農林水産大臣賞 三重県知事賞	萩 村 和 樹	四日市市
東海農政局長賞	萩 村 浩 史	四日市市
三重県議会議長賞	伊 達 亀 嘉	亀山市
全国茶生産団体連合会長賞	西 村 公 男	大紀町

(深蒸し煎茶の部)

農林水産大臣賞 三重県知事賞	(有)深緑茶房	松阪市
東海農政局長賞	(有)茶工房香肌	松阪市
三重県議会議長賞	中 角 由美子	松阪市
(公社)日本茶業中央会長賞	中 角 徹	松阪市
全国茶商工業協同組合連合会理事長賞	茶来まつさか(株)	松阪市
関西茶業協議会長賞	西 村 義 子	大台町

(かぶせ茶の部)

農林水産省生産局長賞 三重県知事賞	萩村浩史	四日市市
三重県議会議長賞	萩村重美	四日市市

【産地賞】

順位	市町名	説明
1位	松阪市	関西茶品評会及び伊勢茶品評会での評価点数を加味した総合評価
2位	四日市市	
3位	大台町	

(2) 第73回全国茶まつり愛知大会

【日 程】

	月 日	場 所
全国茶品評会	8月27日(火)～30日(金)	西尾コンベンションホール
大会式典	11月16日(土)	西尾市文化会館

【出品点数等】

	普通煎茶4kg	かぶせ茶	計
出品茶数 県	7	8	15
全体	104	111	総計 920
出品都府県数	14	8	20

【全国茶品評会特別賞】

かぶせ茶の部

全国茶生産団体連合会会長賞	萩村和樹	四日市市
---------------	------	------

(3) 第72回関西茶業振興大会京都府大会

【日 程】

	月 日	場 所
関西茶品評会	8月6日(火)～8日(木)	宇治茶会館
大会式典	11月9日(土)	城陽市文化パーク城陽

【出品点数等】

	普通煎茶	深蒸し煎茶	かぶせ茶	計
出品茶数 県	70	55	6	131
全体	131	55	36	総計 463
出品府県数	6	1	4	6
入賞数	1等	2等	3等	総計 148
	3	12	19	34

【関西茶品評会特別賞】

(深蒸し煎茶の部)

農林水産大臣賞	中角製茶 中 角 由美子	松阪市
農林水産省生産局長賞	(有)ヤマキ高橋製茶園 高 橋 恵 子	松阪市
(公社)日本茶業中央会長賞	中角製茶 中 角 徹	松阪市

【産地賞】

深蒸し煎茶の部	松阪市
---------	-----

【出品茶品質向上奨励金贈呈】

普通煎茶、かぶせ茶において、全国茶品評会、関西茶品評会等でより上位を目指す機運を高めるために平成29年度に新設した品評会出品茶品質向上事業により優秀な成績（1等）を収めた方に奨励金を贈呈することにしました。

奨励金贈答者

全国茶品評会	かぶせ茶の部1等入賞者 1名
--------	----------------

別 掲 2 育成組織活動状況

(1) 第66回全国茶審査技術競技大会（三重県茶業青年団）

【日 程】

	月 日	場 所
競技大会・式典	9月7日(土)	静岡県 株式会社 静岡茶市場

【参加人数等】

参加団体数	参加人数	うち三重県	三重県順位	入賞
13	119名	9名	5位	1名

(2) 第36回全国茶生産青年茶審査技術競技会（三重県茶生産青年会）

【日 程】

	月 日	場 所
競技会	11月15日(金)	愛知県 西三河農業協同組合本店
大会式典	11月16日(土)	愛知県 西尾市文化会館

【参加人数等】

参加府県	参加者数	うち三重県
14	90名	5名

(3) 第27回全国手もみ茶振興大会（三重県手もみ茶技術伝承保存会）

【日 程】

	月 日	場 所
全国手もみ茶品評会	7月11日(木)	静岡県 島田市 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶研究部門 金谷茶業研究拠点
全国手もみ製茶技術競技大会	11月13日(水)	静岡県 株式会社 静岡茶市場
大会式典	11月13日(水)	

【出品点数等】

全国手もみ茶品評会	出品府県	総出品数	三重県出品
	16	115	6
全国手もみ製茶技術競技大会	出場	うち三重県	順位
	30チーム (90名)	3チーム (9名)	3位

茶関係組織の令和元年度活動状況

伊勢茶推進協議会（平成31年4月1日から令和2年3月31日）

(1) 新聞雑誌等でPR

4月	中日新聞 三重版全15段広告
	「まま・ここと」 三重版：伊勢茶特集 4/10 発刊
	雑誌「CHEEK」4月号 伊勢茶記事巻頭掲載 4/23 発刊
2月～5月	「春びあ 東海版」 広告掲載 2月～5月
4月	朝日新聞 三重版 4月～5月 10回以上広告掲載

(2) HP、SNS等でPR

通年	伊勢茶インスタグラム、Facebook、ツイッター
8月	インスタグラム 伊勢茶アンバサダーキャンペーン ワークショップ 於：名古屋市栄

(3) イベント開催、参加等

4月	三重茶農協新茶祭り 茶柱タツ参加
	国体とこわかダンスリレー 茶柱タツ撮影参加
5月	「すずか新茶イベント」茶柱タツ参加 於：イオンタウン鈴鹿
6月	「四日市STYLE2019」東海ラジオ主催 呈茶と茶柱タツ参加 於：アスナル金山
7月	「キッズお仕事広場」茶柱タツ参加 於：松阪市こどもの城
10月	「ワークセンターフェスティバル」(地域交流イベント) 茶柱タツ参加 於：松阪市徳和
	「青空お茶まつり」茶柱タツ参加 於：亀山パイロット

11月	「冠茶宣伝活動」 茶柱タツ参加 四日市茶業連合会 於：四日市市役所
	「大台町どんとこい祭り」 茶柱タツ参加 大台茶業組合
	「縁結び 椿市」 茶柱タツ参加 於：鈴鹿椿大社
12月	「鈴鹿シティマラソン&すずか茶ーキット」 茶柱タツ参加 於：鈴鹿サーキット
1月	四日市出初式：東海ラジオ 当地キャラ感謝祭 茶柱タツ参加 於：四日市ドーム
	「呈茶イベント」 JAみえ 於：伊勢市二見浦 伊勢シーパラダイス

(4) 野外広告等

4月	三重茶農協屋外広告申請 於：第4冷蔵庫
	新幹線名古屋駅前 大型ビジョン「NAGY」 広告掲載6回/h 4/24~5/26
8月	「茶柱タツ」野立て看板修繕 於：四日市市山田町
12月	近鉄名古屋駅 アーバンビジョン 広告掲載4週間 12/16~1/19

(5) ノベルティほか

4月	B3版B5折り 四ッ折りチラシ 14,000枚 郵パック用
6月	お茶こども用 冊子 10,000 増刷

和のこころを伝えるパッケージ

お茶の小袋、茶缶、ギフト箱、シール等を取り扱っています。

総合カタログもございます。お気軽にお声がけ下さい。

お電話・FAXの際は、お名前、住所、電話番号をお願いします。

茶袋・茶缶・ギフト・シール・その他各種商品企画制作



〒515-0025

三重県松阪市和屋町330-4

TEL(0598)28-2250

FAX(0598)28-4778

(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

会員等の主な活動（令和2年1月以降）

1月26日（日）	第9回松阪茶グランプリ	嬉野中央研修センター
1月28日（火） 29日（水）	手もみ茶新年初揉み 28日手もみ 29日奉納	度会町 大久保 伊勢神宮（外宮）
2月17日（月）	日本茶インストラクター協会三重県支部 総会及び闘茶会	茶業・花植木研究室
2月26日（水）	関西茶業協議会共催府県会議	奈良県 奈良県農協会館
2月27日（木）	手もみ茶技術伝承保存会総会	茶業・花植木研究室
4月14日（火）	県民功労者表彰	県庁
4月15日（水）	大台町茶業組合 ハウス茶収穫	大台町 神瀬ハウス
4月21日（火）	県手もみ茶技術伝承保存会 手摘み、初もみ	度会町 大久保
4月27日（月）	第17回神宮新茶奉納	伊勢神宮（内宮）
6月26日（金）	知事水沢地区視察と茶PR	四日市市水沢地区

トピックス

田中前会頭が県民功労者表彰を受章

田中前会頭は、昭和46年からの亀山市の県営農地開発事業による大規模茶園団地整備の実現、平成28年の全国お茶まつりの成功、鈴鹿農協の組合長及び三重県農業協同組合中央会会長として経営所得安定対策等の農政改革関連三対策を始め重要施策の推進に尽力したことなどにより農業功労として表彰されました。



例年は、県庁講堂での開催ですが、本年は新型コロナウイルスの感染防止もあり4月14日（火）県庁プレゼンテーションルームで開催されました。

6月26日知事が水沢の茶園を視察し水出し茶のPR



新型コロナウイルスの影響でお茶の需要が減少していることを受け、鈴木英敬知事は26日、四日市市水沢町の茶園を視察し、(株)水沢かぶせ会と三重茶農協から今年のお茶の厳しい状況を聞き取り、支援に取り組むことを応えられました。

その後、かぶせ茶の水出し緑茶作りを体験し、冷えた水出しのかぶせ茶を試飲して美味しさを実感されたようでした。

令和2年度茶業振興費の徴収方法について

三重県茶業会議所茶業振興費徴収規定

三重県茶業会議所（以下「会議所」という。）の運営並びに事業推進のため茶業振興費を次により徴収する。

1. 茶業振興費の賦課金

三重県内で生産された荒茶1kgについて

荒茶割（県内県外を問わず売手）3円、買入割（県内県外を問わず買手）3円

2. 徴収方法等

(1) 県内茶市場で取引した茶

荒茶割3円、買入割3円を茶市場が徴収代行し、6円を茶市場が会議所に納入する。

ただし、徴収額がその年度の茶市場荒茶取引量から計算した額に達しないときは、その差額（荒茶取引量から計算した額－徴収代行額）を茶市場負担の茶業振興費として茶市場が会議所に納入する。

(2) 県内茶市場外（県内茶商工業者）で取引した茶

荒茶割3円を茶商工業者が徴収代行し、茶商工業者は買入割3円を加算して6円を会議所に納入する。

(3) 茶生産者が県内茶市場、県内茶商工業者等以外（直売又は県外茶市場、県外茶商工業者等）に販売した茶については1kg当たり6円を茶生産者が会議所に直接納入する。

(4) (2)、(3)については、茶業振興費の徴収額（推定額）を割当てることができる。

3. 納入方法

茶業振興費の納入は、7月、9月、12月、2月の各月末日に各期間分を会議所に納入し、2月末日以降の分は年度末に納入する。

4. 付 則

(1) この規定は、毎年度の会議所総会において当該年度の実施について承認を得なければならない。

(2) この規定は、平成12年度産茶から実施する。

[振込先]（郵便振込の場合）

口座 00870-6-91091
口座名義 三重県茶業会議所

（銀行振込の場合）

百五銀行県庁支店 普通預金 No.3310
口座名義 三重県茶業会議所
会頭 鎌田 隆郎

伊勢茶認証店を募集しています

伊勢茶をより多くの皆さまに愛飲していただくため、伊勢茶を販売していただける店舗を伊勢茶銘柄販売店として認証しています。

ご希望の方は、以下の要領に基づき令和2年8月25日までに申請していただきますようよろしくお願いいたします。

- 応募方法** 「伊勢茶銘柄販売店認証事業実施要領」（三重県茶業会議所HP掲載）に基づき、必要書類をそろえて三重県茶業会議所へ申請してください。
- 申請書類** 認定申請書、申請者の概要書、推薦書（会議所会員組織の構成員以外の方が申請する場合に必要）、誓約書
※様式については、茶業会議所にお問い合わせください。
- 問合せ先** 三重県茶業会議所 担当 熊崎、奥山
津市桜橋一丁目649番地 農業共済会館内
TEL 059-226-8551 FAX 059-227-9654
- 認証店には、伊勢茶ポスター（2種B2）、伊勢茶ののぼり（3色各1枚）、茶柱タツ人形1体をお渡しするほか、三重県茶業会議所のホームページへの掲載も予定しております。
- ただ今認証店一覧の冊子を作成中です。応募の時期により掲載させていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策としての国の事業について

会議所で入手した生産者向け事業の概要や日程等をお伝します。

1 経営継続補助金

【事業の説明】

新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組を総合的に支援することによって、地域を支える農林漁業者の経営の継続を図ります。

国のHP <https://www.maff.go.jp/j/keiei/keizoku.html>

【公募等】

2次公募受付開始 令和2年9月中旬目途（1次募集の採択・非採択決定通知後）

2次受付締め切り 令和2年10月中旬目途

【公表されている支援機関】

県内総合農業協同組合の営農部等、三重県農業経営相談所（(公財)三重県農林水産支援センター）

2 高収益作物次期支援交付金

【事業の説明】

外食需要の減少により市場価格が低落する等の影響を受けた野菜・花き・果樹・茶などの高収益作物について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援し、国内外の新たな需要促進につなげます。

国のHP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/jikisaku.html>

【公募等】

第一回公募 【終了】 令和2年6月2日（火曜日）午後5時

第二回公募 第1次締切 【終了】 令和2年7月13日（月曜日）午後5時

第2次締切 【終了】 令和2年7月31日（金曜日）午後5時

第三回公募 随時

【支援対象生産者】

第一回、二回公募とも「令和2年2月から4月の間に野菜、花き、果樹、茶について、出荷実績がある又は廃棄等により出荷できなかった生産者」となりますが次に記載のパンフレットには「5月以降に出荷した場合の支援対象については、今後の公募の際にお示しします。」とあります。

【事業実施主体】

各市町農業再生協議会

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた 生産者の皆さまへ ～高収益作物次期作支援交付金のご案内～

新型コロナウイルス感染症の発生により売上げが減少する等の影響を受けた**高収益作物（野菜・花き・果樹・茶）**について、**次期作に前向きに取り組む生産者の皆さま**を支援いたします。

支援対象となる生産者

令和2年2月から4月の間に野菜、花き、果樹、茶について、出荷実績がある又は廃棄等により出荷できなかった生産者

※1：5月以降に出荷を開始した場合の支援対象については、今後の公募の際にお示しします。

※2：野菜、花き、果樹、茶以外の高収益作物は、都道府県と国との協議により都道府県単位で追加される場合があります。

支援内容その1（要綱第4の2の（1）関係）

◆ **高収益作物の次期作に向けた取組に対して、次のとおり支援します。**

【支援単価】

① **基本単価 5万円/10a** ※中山間地域等では単価を1割加算

② **施設栽培のうち高集約型品目の単価**

対象品目（高集約型品目）： 新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少した品目	交付単価
施設栽培の花き、大葉及びわさび	80万円/10a
施設栽培のマンゴー、おうとう及びぶどう	25万円/10a

【対象施設】 **加温装置（空調装置）又はかん水装置がある施設**

（いわゆる雨よけハウスは除きます。）

※1：都道府県から国への協議により、都道府県単位で対象品目・対象装置が追加される場合があります。

※2：中山間地域等の1割加算はありません。

※3：交付単価80万円/10aは、実施要領別紙1-1の別表1のイの③に取り組むこと。

対象となる取組例

- ・生産・流通コストの削減の取組
- ・種苗、肥料、農薬等の資材の購入
- ・土壌改良資材の投入
- ・自動環境制御装置の活用
- ・作業環境の改善の取組
- ・事業継続計画の策定

等



機械化体系の導入



被覆資材の導入



空調装置の導入



環境制御盤の導入

農 林 水 産 省

支援内容その2 (要綱第4の2の(2)関係)

◆ **次期作に向けた下記の①～③のいずれかの取組を行う場合に、10a当たり2万円を支援します。** ※中山間地域等では単価を1割加算

対象となる取組

- ①新たに直販等を行うためのHP等の整備
- ②新品種・新技術の導入等に向けた取組
- ③海外の残留農薬基準への対応又は有機農業・GAP等の取組

※2万円/10a × 取組数(3取組(①②③全て)で、最大6万円/10a)



研修会の開催



新品種導入

支援内容その3 (要綱第4の2の(3)関係)

◆ **高品質なものを厳選して出荷する取組に対して、取組を行った人数・日数に応じ、1人・1日あたり2,200円を支援します。**

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年2月以降、厳選出荷に取り組んだ期間が対象となります。

【対象品目】

花き、茶、施設栽培の大葉、わさび、マンゴー、おうとう及びぶどう

※都道府県から国への協議により、都道府県単位で対象品目が追加される場合があります。

※施設栽培のうち、いわゆる雨よけハウスは除きます。

対象となる取組

(花きの取組例)

- ・フラワーネット張りの調整
 - ・芽かき・摘花・整枝
 - ・冷蔵貯蔵等による出荷調整
- 等



芽かき・摘花等



茶の被覆作業の実施

(茶の取組例)

- ・被覆作業の実施
 - ・化粧ならし・遅れ芽除去
 - ・荒茶の分別製造調整
- 等

< 事業の流れ >



本事業に関する問い合わせ先

農林水産省 生産局 園芸作物課	☎03-6738-7423	東海農政局 生産部 園芸特産課	☎052-223-4624
北海道農政事務所 生産支援課	☎011-330-8807	近畿農政局 生産部 園芸特産課	☎075-414-9023
東北農政局 生産部 園芸特産課	☎022-221-6193	中国四国農政局 生産部 園芸特産課	☎086-224-4511
関東農政局 生産部 園芸特産課	☎048-740-0434	九州農政局 生産部 園芸特産課	☎096-300-6253
北陸農政局 生産部 園芸特産課	☎076-232-4314	沖縄総合事務局 農林水産部 生産振興課	☎098-866-1653

大事な茶樹を病虫害から守る！！

三重県農薬商業協同組合

理 事 長 中 村 剛 明

副 理 事 長 青 木 貴 行

副 理 事 長 加 藤 眞 八

事 務 所 津市桜橋 1 丁目649番地
T E L 059-225-7617
F A X 059-225-5341

おいしいお茶に最適の肥料を！！

三重県肥料商業組合

理 事 長 加 藤 眞 八

副 理 事 長 九 鬼 十三男

副 理 事 長 今 谷 勝

常 務 理 事 丹 羽 通

事 務 所 津市桜橋 1 丁目649番地
T E L 059-225-5341
F A X 059-225-5341

OCHIAI もっと手早く、高度な作業。さあ、あなたの茶園に確かな未来を築こう。



NEW

乗用型摘採機 (コンテナタイプ)
OHC-11VB・33VB型

■コンテナ容量 / 11VB型 : 2.2m³、33VB型 : 2.8m³

Vブローブラシ方式により
高速摘採が可能に!
大容量コンテナ摘採機!

NEW

乗用型摘採機 (コンテナタイプ)
OHC-5DVBI型
(低床タイプ)

■コンテナ容量 / 1.6m³



傾斜地に強い!
低い運転席で
バッグンの安心感!

茶摘機・茶園管理機



落合刃物工業株式会社

本社・工場 / 静岡県菊川市西方58 ☎(菊川)0537-36-2161 (代)FAX35-4643
関西亀山営業所 / 三重県亀山市布気町字山之下1500 ☎(亀山)0595-82-0505
九州福岡営業所 / 福岡県八女市大字室岡449-1 ☎(福岡)0943-25-7010
九州鹿児島営業所 / 鹿児島県霧島市溝辺町崎森2958-1 ☎(鹿児島)0995-64-1122
<http://www.ochiai-1.co.jp/>

2005 750

KAWASAKI



ネット型碾茶乾燥炉EX

高温熱風と遠赤外線輻射熱で炉香の発揚を実現！！

- ステンレスネットを採用することで、高温熱風と遠赤外線による輻射熱の使用が可能となり、処理能力を落とさず炙り香の発揚が可能となりました。
- 乾燥炉の側板等を断熱構造にし、天井にダンパーを設置することで、湿度コントロールが可能になり、従来機と比べより練瓦式碾茶乾燥炉の炉内環境を再現できます。
- 攪拌軸を従来機の1.5倍に増やすことで、乾燥ムラが減り、万遍なく香気を発揚させることが可能となりました。



上部ダンパー



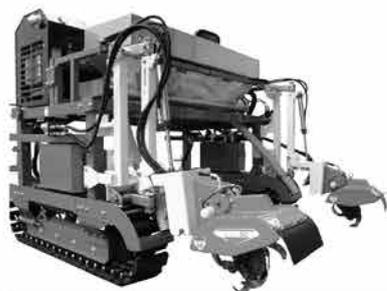
遠赤ヒーター

乗用型複合管理機

茶園の管理作業に特化した 小型乗用複合管理機登場



- 肥料撒布とロータリーカルチ作業が同時にできます。
- 肥料撒布ホッパー容量は300リットルです。
- 肥料撒布は片撒きが可能です。
- 肥料の増減による回転ムラを抑制します。
- カルチは用途に合わせて2段階変速です。



カワサキ機工株式会社

本部 〒436-0005 静岡県掛川市伊達方 810-1 TEL 0537-27-1791 FAX 0537-27-1716